

◆第11週（3月14日（月）～3月20日（日））

一気に衣替えである。週明けの東京は24度の暖かさで始まった。

15日（火）、16日（水）も20度台が続く。月曜日の夕方に西武新宿駅の前にあるYUNIKA VISIONでは、ナイロビ18度、ケープタウン23度と表示されていた。アフリカ諸国より暖かいらしい。

ところが、木曜日の夕方からは久しぶりの雨が寒気を引っ張ってきたのか、再び冬に戻っている。土曜日には春雷が鳴り響いていた。

16日（水）が終わろうとしていた23時半頃にかかなり大きな揺れが来た。福島県沖でマグニチュード7.5の地震が起こる。宮城、福島では震度6、東京も震度4、丁度原稿を読み終え、睡眠に入るところだったが、目が覚めてしまった。

我家では、阪神淡路大震災以来、各部屋に運動靴を配置したり、リュックに非常食の準備がしてあるので、すぐに非常時の対応をした。関東地方における震災や富士山の爆発は既にロスタイムに入っていると考えているため、愛犬ともども情報をしっかり入手しながら様子を探る。やはり、11年前の東日本大震災の余震の一部らしい。コロナ、戦争に震災リスクを抱えているのが21世紀ということなのだろう。

14日（月）の月例ランチミーティングで、4・6月に予定していた社会人力養成講座の延期と京都老舗体感ゼミナール®の10月開催を決定する。いずれもコロナ対策で大きな影響を受けていたイベント事業だが、状況を鑑みながら再開することとした。

今週は、顧客企業とはZoomによる相談（FC契約の進め方や業績賞与の判定法など）や訪問しての相談（今後の投資計画や空き地の活用法など）など、様々な相談事項に立ち会ったり、講演活動（15日）も行う。大阪でのプロ養成講座の東京版である。

新規事業として市場における浸透度やこれからの時代の流れにおけるビジネスの成長度などを、様々な分析法から具体的なケーススタディを活用して解説することとした。講演は一回性のものなので、常に真剣で真摯な姿勢で対応しているのはいつものことだ。

今週は、時間がある時は4月末に出版する予定の『京都 老舗物語』の原稿校正や追加執筆などに時間を割く。地震の時も直前までこの原稿の構成をしており、「今日はここまで」として、ゲラ校正を閉じたところだった。

季節も仕事もなんとなく慌ただしい一週間であったが、土曜日（19日）からは第94回選抜高等学校野球大会が始まった。開会式が雨で一日延びて土曜日になったお陰で選手宣誓を聞くことができた。倉敷工業の主将は堂々とした態度で見事な宣誓を行っていた。わずかな文章の中に「感謝」の言葉が3回も入っている。

春風や あれやこれやと いふなかれ ⑪

